



巡回先「Club ITALIANO」にて撮影：柔道愛好家と中京大学からの指導者3名（2019年2月21日）



アルゼンチン共和国

日系社会から広がる柔道と国際親善

2017年度～2019年度（毎年1回派遣）

ボランティアが活動する在亜沖縄県人連合会は、沖縄県出身者からなる会員の相互理解、親睦を深めること並びに会員の福祉の増進を目的とし1951年に設立されました。現在の会員数は2千名です。当国日系社会の約8割が沖縄県出身日系人であることから、当地日系社会において中心的な役割を担う日系団体です。派遣されたボランティアは、在亜沖縄県人連合会を中心に、ブエノスアイレス市の周辺の柔道の練習場を巡回指導します。年1回の派遣につき、3～4名のボランティアが一か月弱の期間に集中指導を行います。

もともと、アルゼンチンの柔道は、1906年に海軍の訓練として始まり、日本人が指導をしてきた歴史があります。戦後においても、日系人の指導者や各日系団体が貢献してきました。一時的な活動の停滞期間はあったものの、2000年以降は世界選手権やオリンピックでの優勝者を輩出するまでになりました。日系社会においても、日系指導者(2～4世)が柔道場を再開し、有望日系選手も出現するに至っています。

一方で、日本での稽古経験のない現地指導者には限界もあることから、更なる発展のため、JICA海外協力隊による指導を通じ、指導力向上、選手の技術向上を図ることを目的とし、2017年度より大学連携派遣が開始されています。

～活動や目指す成果～

目指す成果

指導内容の向上として、組み方や崩し方の指導では力任せにならない技術を伝えるほか、投技や固技については運動力学的な要素をとりこんだ指導を行います。また国際柔道の競技傾向やトレーニング理論についての情報提供を行うとともに競技力の向上を図ります。

活動の内容

- ◆稽古の実施：いくつかの道場を巡回し、成人・青少年を対象に、受身などの基本動作から投技、固技等について技術指導や、乱取りを通じた稽古を行います。また、日本における指導・練習法を紹介します。
- ◆現地指導者に対する指導：指導者に対する日本式の柔道の精神、礼法、指導・練習方法、筋力トレーニング方法等を紹介します。
- ◆講習の実施：柔道の歴史や武道の精神等に関して、講習会等を開催します。

直近の成果

- ◆2019年2月の派遣においては、配属先のみならず、CENARD や Banco Nación, Club Italiano, DOJO SAMURAY, Rosario, La Plata, Chacabuco, 警察学校の9箇所において柔道指導をしました。
- ◆10人以上の指導者に日本柔道の指導法を説明しました。また、説明を受けた現地の指導者が所属の選手に同様の指導法を展開する様子が見られました。
- ◆90人以上の選手に、競技力向上のための指導を行いました。選手に柔道に対する意識や動作の改善がありました。